

イベント情報♪

◆5月23日(土) 19:00-21:00「鶴酒場～鶴と名が付く酒の呑み比べ」

本屋さんでおいしいお酒を呑みませんか!? ツルハシブックスの名にちなんで、“ツル”とつくお酒をご用意してお待ちしております。内野の「鶴の友」、佐渡の「金鶴」・・・差し入れも大歓迎です～!

場所：ツルハシブックス

会費：1500円

◆6月14日(日) 10:00-17:00「出張本屋@浜めぐり」

越前浜へツルハシ号が出張します! 海がすぐそこにある素敵な場所ですよ～。その場で読める図書館の絵本もご用意していますので、のんびり読書したい方、親子連れの方もお待ちしております。

場所：越前浜海水浴場「小川屋」

◆5・6月 毎週土曜日 7:30-9:00「八十八のおとも研究所」

おいしい朝ごはんを、おいしいご飯のおともと食べるイベントです。おかずは週替わりで毎週違うものが用意されます! 休日の朝、少し早起きをしてみんなとおいしい朝ごはんを食べるのは最高です。

場所：ツルハシブックス

ツルハシブックス劇団員募集!!

劇団員とは、「ツルハシブックス」という舞台をきっかけにつながるコミュニティです。

その1. 自分の周りが劇場になる

入団すると「劇団員証(パスポート)」と自作用の消しゴムハンコが授与されます。

パスポートを持って、様々な人生劇場を演じている劇団員に会いに行ってみましょう。

その2. ツルハシブックスで役を演じる

店内のボックス型ギャラリー「カラバコ」に出展したり、月に1度屋台で販売ができるようになります。ツルハシブックスの演出にぜひあなたの力を。

月刊つるこぼんは、ツルハシブックス劇団員の会費で制作されています。

お問い合わせ：ツルハシブックス TEL:025-261-3188 tsuruhashibooks@gmail.com

制作：つるこぼん編集部(新潟市西区内野町431-2 ツルハシブックス) 2015年4月15日発行



月刊つるこぼん

5月号



意外と人気！？ツルハシオカマバー

ゴールデンウィークの余韻冷めやらぬ5月9日の夜、ツルハシブックスに4人のオカマが現れ、一夜限りのオカマバーを催しました。前店長 西田が前々から「いつかやりたい」と意気込んでいたオカマバーですが、ついに実現いたしました。予想以上の大繁盛でお店の中はオカマとお客さんでギュウギュウ。この手のイベントは想像よりもはるかに、おもてなしする方はもちろん、お客さんも笑顔になれることに気がきましたので、近いうちに第二弾も開催でき

ばなあと思います。ぜひお楽しみに！



○ダイ子ママからのひとこと

「もう！最近の若い子ってなんでこう意気地がないのかしら！3日前くらいまで何も計画してなくて「ほんとにやるんですか？」的なあ。でも当日になってお化粧しただしたら…みんなノリノリじゃないの！直前の告知にも関わらずすっごく沢山の皆様に来ていただいて、ほんと感謝だわ。また必ずやるわよ！」

今月の一冊

内沼 晋太郎『本の逆襲』 紹介する人：荒井俊幸

「本の未来は、明るい」。そんな考えのもと、本のこれからについて、本の可能性について書かれています。筆者、内沼新太郎の語る本の可能性を目にすれば、本好きなら思わず、わくわくするはず。「本」や「読む」ことについての私達の概念をこの本は解きほぐしてくれます。本の仕事をしようという方、本の未来が気になる方、そして、本に少しでも関わりがある方、是非読んでみて下さい。街の本屋が、目の前本屋が、目の前にある

本が変わって見えるはず。ちなみに、この本の筆者は下北沢でB&Bというビールの飲める本屋を運営しています。この本が気に入ったのであれば是非。本屋で飲むビール、なかなか味わい深いです。東京が遠いという方も、おもしろいのでサイトだけでも見てみて！



井上 有紀
Yuki Inoue



吉野 さくら
Sakura Yoshino



堀 愛梨
Airi Hori

はじめまして。
コメタクです。

2015年春よりツルハシブックスを拠点に活動する女性三人チーム コメタク。彼女たちは何者なのか。

第一話

みんなで生きる

コメタクとは何をするチームですか？

ゆき…米を炊くことから、始まる豊かな暮らしを提供しようとするチームです。

なぜそれをしよう？

ゆき…三人共通の思いは、「みんな一人で生きようとし過ぎだ」ということです。今の社会って、多くの人が「これからどうやって生きて行く？」みたいな不安があると、思うんだけど、その原因は何かって言うと、「全部

一人でやれるようになんなきゃ」と思い過ぎてるからなんじゃないかな。

なにかの資格取って、自分に武器を身に付けて、「一人で社会と戦っていい

るようにしないと…！」みたいな不安を多くの人が抱えているんだと思う。

でもそれは違うんじゃないかって私たちは思っています、自分一人ではなく誰かと一

緒に手を取り合って暮らしていくスタイルがこれからの生き方じゃないでしょうか。私たちは新しい生き方を提案しに新潟にきました。

なるほどね。「一人じゃなく、みんなで生きて行く」と。いい言葉だね。

ゆき…みんなであってという



は、単純に協力し合うってだけじゃくて、なんて言うんだ…。

例えば自分が食べるお米を、町のお米屋さんで買うってことも

誰かと一緒に生きるってことに

なる。あと、十年後の自分を考えて、「体にいいものを摂ろう」と考えることも未

来の自分と一緒に生きていくことだし。

ほうほう。なるほどなるほど。

あーいり…時間軸を超えてね。ゆき…そうそう。あーいり…ここはみんなで合宿して、考えて出た答え。合宿したんだ(笑)。

暗やみ本屋ハックツ

東京ブックスタマ上石神井店に
2015 秋オープン！
内装工事お手伝い募集中！

詳しくはメール tsuruhashibooks@gmail.com までお問い合わせください。
<http://tsuruhashi.skr.jp/hakkutsu>

